



JX日鉱日石エネルギー



2012年3月14日

記者各位

エクストラータ・コール
JX日鉱日石エネルギー株式会社

エクストラータ・コールとJX日鉱日石エネルギーのカナダにおける原料炭合弁事業の開始について

エクストラータ・コール(チーフエグゼクティブ:ピーター・フライバーグ、以下「エクストラータ」と)とJX日鉱日石エネルギー(社長:木村 康、以下「JXエネルギー」)は、カナダ西部のピースリバー炭田において原料炭合弁事業を開始しましたので、お知らせいたします。

JXエネルギーの子会社であるJXニッポン・オイル・アンド・エナジー(オーストラリア)(本社:シドニー、社長:飯塚 修、以下「JXオーストラリア」)は、エクストラータより下記の隣接する原料炭権益の100%を保有しているエクストラータ・コール・ブリティッシュ・コロンビア・グループ(以下「XCBC」)の持分25%を435百万米ドルで取得しました。

- ファースト・コール・コーポレーション社(以下「ファースト・コール」):
2011年8月エクストラータが取得、10万ヘクタール以上の鉱区を保有
- 旧ロッサン石炭権益: 2011年10月、エクストラータが取得
- スクンカ石炭権益(以下「スクンカ鉱区」):
2012年3月8日にエクストラータが買収を発表し、3月13日に取得完了

エクストラータはXCBCの持分の75%を保有し、本合弁事業が保有する鉱区の開発、操業および運営を行います。また、JXエネルギーは、JXオーストラリアを通じXCBCの持分25%を保有し、ファースト・コール所有鉱区およびスクンカ鉱区から産出される原料炭の日本向け総販売代理店を務めます。

XCBCのプロジェクトのうち、調査が先行しているスクンカ鉱区およびススカ石炭プロジェクト(以下「ススカ鉱区」、旧ロッサン石炭権益と近接するファースト・コール所有鉱区の一部を統合し、より大規模な露天掘りプロジェクトと発展させたもの)は、あわせて950万トン/年の生産が可能との技術調査結果が出ております。産出される石炭の大部分は強粘結炭が占め、一部はPCI炭(高炉において微粉炭吹込に用いられる石炭)となる見込みです。

スクンカ鉱区は、NI 43-101(カナダにおける鉱物資源プロジェクト情報開示基準)に基づいた確定および推定資源量が2.36億トンに上ります。同鉱区では、資源調査会社のノルウエスト社が、ロングウォール坑内掘りによる強粘結炭生産のプレFS(事前事業化調査)を実施済みです。また、エクスト

ラータの技術調査では、更なる資産価値向上の可能性が示されています。

ファースト・コール所有鉱区(ススカ鉱区に統合した鉱区を除く)は、2012年に認可を取得した後に予定されている本格的な探査開始に向けた準備が順調に進められています。過去の探査結果、最近実施された調査のいずれにおいても、大規模な輸出向け品位の原料炭賦存の可能性が示されています。

JX日鉱日石エネルギー 社長 木村康のコメント

「当社とエクストラータは、豪州のオークブリッジ社における合併事業を通じ、パートナーとして長年に亘り強い信頼関係を築き上げてきました。今般の機会に、当社が初めて強粘結炭事業に進出するという点で、大きな意義があります。

我々の今回の共同事業は、従来の電力会社向けを中心とした一般炭事業に加えて、鉄鋼生産に不可欠とされる製鉄会社向け原料炭事業へも本格的にその領域を拡大するものです。

エクストラータは石炭プロジェクトの開発やその価値の最大化において非常にすぐれた実績を誇っており、強粘結炭の長期安定供給に貢献する今回の新規事業においても、その能力がいかに発揮されるものと考えております。」

エクストラータ・コール ピーター・フライバーグ チーフエグゼクティブのコメント

「JXエネルギーと当社は、オーストラリアで共同出資を行っているオークブリッジ社を通じて長年に亘り強固で素晴らしい協力関係を築き上げてきました。今回、この西カナダにおける大規模原料炭事業を立ち上げるにあたり、再び長期に亘るパートナーとして共同事業を営めることを嬉しく思います。

2011年8月から行ってきたファースト・コール、ロッサン及びスクンカの統合を通じて、当社は原料炭事業への取り組みを強化して参ります。また、これらプロジェクト間のシナジー効果により生まれる、大規模かつ効率的な炭鉱の一体開発により、株主価値の多大なる向上に寄与すると考えています。」

両社はXCBCについての合併事業契約を既に締結し、エクストラータによるスクンカ鉱区の取得完了と同時に、JXオーストラリアによるXCBCへの出資も完了しております。

なお、本件においてJ.P.モルガンがJXエネルギーのフィナンシャル・アドバイザーを務め、JT ボイドが技術アドバイザーを、ノートン・ローズが法務アドバイザーを務めました。また、ベネット・ジョーンズおよびキング&ウッド マレソングがエクストラータ社の法務アドバイザーを務めました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

エクストラータ・コール:

Kathryn Lamond

電話番号 +612 9253 6789
携帯番号 +61 (0) 417 074 751
Email klamond@xstratacoal.com
www.xstratacoal.com

Alison Flynn

電話番号 +44 20 7968 2838
携帯番号 +44 7769 314374
Email aflynn@xstrata.com

JX日鉱日石エネルギー:

広報部広報グループ

電話番号 03-6275-5046
www.no.e.jx-group.co.jp

参考

エクストラータ plc 社(エクストラータ・コールの親会社)について

主要鉱物資源の大手生産者。銅、一般炭・原料炭、フェロクロム、亜鉛およびニッケルの生産に関しては世界で五指に入ります。銀、鉛、プラチナ、金、コバルトおよびバナジウムも生産。これらの鉱物資源は、ビルの建設、送電、ジェットエンジンから携帯電話の開発に至るあらゆる物に使用されています。

2002年設立、本拠地はスイス。世界20カ国に亘り事業を展開し、100以上の事業及びプロジェクトにおける従業員数は7万人以上。起業家精神および大胆な手法に基づき、責任ある持続可能な事業を追求しています。詳細は、www.xstrata.comをご参照願います。

エクストラータ・コールについて

発電に用いられる高熱量一般炭の世界最大の輸出者であり、鉄鋼生産に用いられる石炭の生産についても大手の1社。豪州シドニーに本拠地を置き、豪州、南アフリカおよびコロンビアに30以上の炭鉱の権益を有し、カナダにも開発段階のプロジェクトを保有。2011年度のダウ・ジョーンズ社発表株式指標DJSIにおいて鉱業部門5年連続1位。詳細は www.xstratacoal.com をご参照願います。

JX日鉱日石エネルギーについて

JXホールディングス株式会社(東京証券取引所上場、証券コード5020)の100%子会社であり、JXグループにおける中核事業会社。石油精製、石油製品・石油化学製品の販売、ガスや石炭の輸入販売、電気の供給および燃料電池の製造・販売を主要事業とする総合エネルギー企業。

詳細は www.no.e.jx-group.co.jpをご参照願います。

各鉱区のロケーション スクンカ(赤)、ファースト・コール(黒)、ススカ(紫)

